

令和8年(2026)8月教育委員会定例会 会議録

令和8年(2026)8月25日(火)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所5階入札室に招集した。

(1) 会議に出席した者

教育長	杉谷 学
委員(教育長職務代理)	奥 康人
委員	鳥屋尾あかね
委員	上代真弓

(2) 欠席した者

委員	布野和弘
----	------

(3) 説明のため会議に出席した者

副教育長	金築健志
教育部次長(教育政策課長)	山根裕恵
教育部次長(児童生徒支援課長)	原田 尚
教育部次長(教育施設課長)	古川 薫
学校教育課長	陶山健志
学校給食課長	山内泰治
出雲科学館館長	曾田浩司
児童生徒支援課主査	小林 剛
学校教育課課長補佐	有馬陽介
保育幼稚園課主幹	川島洋子

(4) 会議の書記

教育政策課課長補佐	竹内 洋
-----------	------

(5) 傍聴者

なし

開会

(杉谷教育長)ただいまから、令和8年8月出雲市教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議は、お手元に配付している日程のとおりでございます。なお、布野委員が体調を崩されたということで本日はご欠席でございます。委員3名の出席ということになりますのでよろしくお願いいたします。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長)では、まず最初に「教育長行政報告」をさせていただきます。

(以下、報告項目のみ掲載)

1 これまでの動向（R 8 年 7 月 2 9 日以降）

R8. 7. 29	市長と校長会との懇談会
R8. 7. 30	島根県都市教育長会第 2 回定例会（江津市）
R8. 7. 31	県知事要望、 出雲市フレンドシップ事業、 中学生サミット
R8. 8. 2	出雲市戦没者追悼・平和祈念式典（ラピタ）
R8. 8. 4	島根県人権教育研究大会（市民会館）
R8. 8. 5	第 1 回教育政策審議会
R8. 8. 7	学力向上＋1 講座（平田行政センター）
R8. 8. 8	出雲神話まつり
R8. 8. 10	出雲科学館運営理事会（出雲科学館）
R8. 8. 18	全国中学校軟式野球大会開会式（浜山公園野球場） 第 2 回教育政策審議会、 国際交流員着任挨拶
R8. 8. 19	雲伯都市教育長会研修会（出雲科学館、弥生の森博物館）
R8. 8. 22	出雲市同和教育講演会（市民会館）
R8. 8. 23	夏休み親子自然体験@わかあゆの里
R8. 8. 24	市長定例記者会見、 小・中学校長会
R8. 8. 25	教育委員会 8 月定例会

2 今後の予定

R8. 8. 27	山陰中央新報社地域開発賞「教育賞」選考会（松江市）
R8. 8. 28	出雲市議会 9 月定例会開会、本会議、全員協議会
R8. 9. 2	出雲市議会 9 月定例会一般質問（～ 7 日）
R8. 9. 4	カラヨキ市訪問団帰国報告会
R8. 9. 8	出雲市議会 9 月定例会予算特別委員会 第 3 回教育政策審議会
R8. 9. 10	出雲市議会 9 月定例会文教厚生委員会
R8. 9. 16	出雲市議会 9 月定例会決算特別委員会（～ 2 4 日）
R8. 9. 24	教育委員会 9 月定例会

2 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に移ります。前回 7 月定例会の会議録につきまして、ご意見ございますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) では、意見はないようでございますので、7 月定例会の会議録については承認といたします。署名については、会議終了後にお願いをいたします。

3 議事

(杉谷教育長) それでは、議事に入ります。まず、「議第 2 6 号 出雲市立小学

校及び中学校の通学区域並びに就学学校の指定に関する規則の一部を改正する規則」から、「議第２８号 出雲市立小学校及び中学校における小規模特認校に関する要綱」までの３つの議案につきましては、関連がございますので一括して議題とさせていただきます。学校教育課 陶山課長から説明をお願いします。

(陶山課長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長) それでは、議第２６号、２７号、２８号は関連するということで一括で説明いたしました、委員の皆様からの質疑をいただきたいと思います。議第２６号についての質疑はございますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) では、引き続いて、議第２７号についての質疑はいかがでしょうか。奥委員どうぞ。

(奥委員) 今、ご説明いただいた中の添付書類についてですが、２０ページの誓約書と２１ページの小規模特認校入学に係る意見書は、これは対で提出する形になるということでございますね。

(杉谷教育長) 陶山課長。

(陶山課長) 小規模特認校への就学申込の前段で、保護者や子どもさんが学校へ見学に行き、先生から話を聞いていただくようになります。その後、実際に通いたいとなった場合には、保護者は申出書と誓約書を学校へ提出することになりますが、その際には学校長と必ず面談をしていただく考えでおります。その面談を受けて、学校長に意見書を書いていただき、保護者から提出された書類に添付して学校から市教委の方へ申請をしていただくという流れで考えております。

(杉谷教育長) 奥委員。

(奥委員) ルール的なものは私は把握しておりませんが、意見書には児童生徒のふりがなを書くところもありますが、誓約書にはそれはありませんので、個人名ということでもありますので、できれば統一された方が良いかと思います。

(杉谷教育長) 陶山課長。

(陶山課長) そうしたところについては、運用で対応させていただこうと思います。

(杉谷教育長) 他にはいかがでしょうか。鳥屋尾委員。

(鳥屋尾委員)もし今年度中に希望者がいたら運用するということですが、行政が把握するレベルじゃないかもしれませんが、何かすでに申請の目途はあるのでしょうか。

(杉谷教育長)陶山課長。

(陶山課長)まだ全くわからないというのが正直なところです。一定のニーズはあるのではないかと考えておりますが、実際、通学も保護者の負担でやっていただくという形になりますので、そうしたところも含めて特認校に通うかどうかをご家庭で判断して申し込んでいただくようになると考えております。

(杉谷教育長)鳥屋尾委員。

(鳥屋尾委員)あともうひとつ伺いますが、この事業の主体はお子さんと保護者さんですが、自分たちで動くのは結構大変だなと思っています。「この学校がいいかもしれない。この学校にも行ってみたい。」といったように、能動的な計画ができればよいですが、やはり大変だと思います。行政として何か協力されてもいいのかなとも思います。

(杉谷教育長)広報に関する部分も含めての質問であると思いますが、陶山課長どうぞ。

(陶山課長)本日議決いただいた後は、市や各学校で募集の広報を進めていくようになります。これから小学校へ入学される方、あるいは、今は他の学校に在籍してるけれども、特認校への就学を少しでも考えている方には、個別に何らかの形で周知を図っていきたいと考えております。また、これは指定校変更の制度の中で動いていくこととなります。特認校以外の理由、例えば部活動を希望として指定校変更する方には、何の支援もありませんので、そうした方とのバランスも考慮して現時点では支援ということは考えていないところでございます。

(杉谷教育長)よろしいでしょうか。はい、上代委員どうぞ。

(上代委員)素朴な質問ですが、学校長の意見書は何のための意見書なんですか。つまり、希望したら生徒さんがその小規模特認校に必ず入れるものなのか。意見書如何によっては、そうではない方向に行くのかっていうところが気になります。大体わかってるつもりなんですけれども、この意見書の目的について、確認のためにお知らせください。

(杉谷教育長)陶山課長。

(陶山課長)小規模特認校の校長先生は、おそらく基本的にはすべて歓迎して対

応されると思いますが、例えば、特別な支援が必要である場合には、そのことを意見書に記入して市教委へ提出される想定でいるところです。

(杉谷教育長) 上代委員どうぞ。

(上代委員) よくわかりました。私は、これは非常に期待をしている事業でして、初年度から広報等の取り組みをされると思いますが、少し長いスパンで見えていて、良い事業に育てていただきたいと教育委員の立場としても思っております。広報などもしっかり行っていただいて、子どもたちにとって良い育ち、学びになるといいかなと思っています。

(杉谷教育長) 手続き等のこともございましたが、最後に議第28号も含めて質疑がありましたらお願いします。上代委員どうぞ。

(上代委員) 今回は小学校だけが対象でしょうか。

(杉谷教育長) 陶山課長。

(陶山課長) 来年4月からスタートする場合には7月末までに学校から申請をいただくようにしておりましたので、期限までに申請のあった4つの小学校を指定したところでございます。ただ今後、追加で指定して欲しいという学校があれば、できる限り対応したいと思っております。その場合、申請が遅れた分、児童生徒を募集する期間は短くなりますので、そうしたところも含めて学校へ説明をした上で、申請していただくようにしたいと考えております。

(杉谷教育長) 特認校の該当となりうる学校への説明など、今までどのような対応をしてきたかについて少し紹介してください。

(陶山課長) 基本方針を定めた時点での対象となりうる学校は、小学校は今回の4校の他に須佐小学校がございまして、中学校については、南中学校と佐田中学校があり、あわせて7校が対象となりうる学校でございました。これら7つの学校に対して、市としては、希望されれば来年度から受け入れ開始というスケジュールを考えているので、学校として学校運営理事会を含めて地域への説明をされたうえで、どうされるか考えていただきたいと伝えておりました。その際に、7月末が指定校の申請期限であることもお伝えしておりました。そうした中で、5月末ごろから、各学校から説明に来てほしい旨の話がありましたので、市教委から学校運営理事会などに出向いて説明をしてきたところです。ただ、今のところ指定校の申請が出ていない佐田中学校と須佐小学校は、まだ地元へ説明に行っておりませんので、今後そうしたことも出てくるのではと思っています。

(杉谷教育長) 各学校にそうした投げかけをしたうえで、学校や学校運営理事会等の地域からの要請で説明に出かけて、来年4月にスタートするのであればい

つまでに指定校の申請ということでお伝えをしてきたということでもあります。
7月末時点での申請がこの4校であったということで今回指定をしたところで
ございます。その他、ご質問ありますでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)では、他にはないようでございますので、「議第26号 出雲市立小学校及び中学校の通学区域並びに就学学校の指定に関する規則の一部を改正する規則」から「議第28号 出雲市立小学校及び中学校における小規模特認校に関する要綱」までを承認することについてご異議ございませんでしょうか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第26号 出雲市立小学校及び中学校の通学区域並びに就学学校の指定に関する規則の一部を改正する規則」、「議第27号 出雲市立小学校及び中学校の通学区域に関する取扱要綱の一部を改正する要綱」、「議第28号 出雲市立小学校及び中学校における小規模特認校に関する要綱」の3議案については、承認いたします。続いて、「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を議題いたします。教育政策課 山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)辞任が1名、任命が2名ということですが、委員数は定数の15名以内ということは大丈夫ですか。

(山根教育部次長)はい。15名以内となっております。

(杉谷教育長)委員数についての問題はないということですが、質疑はありませんでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)では、「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認することについて、御異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認いたします。続いて、「議第30号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の任命について」を議題いたします。保育幼稚園課 川島主幹から説明をお願いします。

(川島主幹)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)先ほどの説明について質疑はございますでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)では、「議第30号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の任命について」を承認することについて、御異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)異議なしと認めます。「議第30号 出雲市立幼稚園における幼稚園運営協議会委員の任命について」を承認いたします。議事は以上でございます。

4 報告

(杉谷教育長)続いて報告事項に入ります。まず、報告(1)令和8年度出雲市フレンドシップ事業についてを、児童生徒支援課 原田次長から説明をお願いします。

(原田教育部次長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)出雲市フレンドシップ事業の説明でしたが、委員の皆様からご質問がありますでしょうか。上代委員どうぞ。

(上代委員)感想となりますが、このフレンドシップ宣言は、毎年必ず行われておりまして、現場の方は大変かもしれませんが、私はこの取り組みをずっと続けて欲しいと思っています。市内のいろいろなところにポスターが貼られているのを見ておりますし、以前務めていた図書館でも見ておりました。子どもたちのこうした取り組みは非常に意義が深いことだなと思っておりますので、ぜひ、今後ともよろしく願いいたします。

(杉谷教育長)では続いて、その日の午後に行いました出雲市中学生サミットについての報告を学校教育課の陶山課長からお願いします。

(陶山課長)(資料を用いて説明)

(杉谷教育長)鳥屋尾委員にご参加いただきましたが、ご感想を一言お願いできますでしょうか。

(鳥屋尾委員)先日はお疲れ様でした。1時間ぐらい参加させていただきました。

前回の協議会の時に参加人数が減ったことを言わせていただきましたが、この人数で妥当だったなと思いました。各校2人ずつ、子どもたちが4人のグループでファシリテーターの方がおられるとすごく話し合いがしやすいことが見てとれたので、これで正解だったのかなと思いました。3人ずつとなると、どうしても余ってしまう感じになるので、2人ずつの方がいいなと思いました。また、A Iが意見をまとめたことはすごく良かったです。私はこういうのはあまりかわらないですが、今の時代すごく便利だと思いました。子どもたち自身も自分たちが言ったことが見える化できて、考えたことがうまく表現されて見やすいこと、文字もいいところで大きくなっていたりしてすごく良いと思いました。また、くすっと笑えるところなど、子どもってこんなことを考えているのかということもありました。Cグループの子どもが安全に遊べる場所のところも感心しましたし、今年も面白かったです。いろいろとお世話になりました。

(杉谷教育長) 初の試みで、A Iに発表資料を作らせるということだったのですが特に問題はなかったですね。指示によって若干違いはあったのかもしれませんが、どうでしたでしょうか。

(陶山課長) 指示の方はI T支援員に作っていただいて、それに基づいて資料を作った形でした。何回か作り直したグループもありましたが、それでも良いものができたのではないかと考えております。

(杉谷教育長) 市長へは、このスライド資料を使ってプレゼンをして、それぞれ発表に対しての講評をもらったということでした。子どもたちも、自分たちの考えについて市長からコメントをもらったことは良いものであったかなと思います。これが参加した子どもたちだけではなくて、参加していない子たちのもとへも届いて、先ほどのフレンドシップ事業ではありませんけれども、自分たちの取り組みがまたここからスタートすればいいかなと思っています。冒頭のところで、去年の中学生サミットで「こんなことをしていきます」と宣言をしたあとの平田中学校の取り組み事例を紹介してもらいましたが、それを聞くことで、自分たちもこれを作るだけが目的ではなくて、ここからがスタートなんだなということが、少しは理解できたかなとも思いました。では、続いて進めさせていただきます。報告(3) 令和8年度市長の学校訪問についてを、学校教育課 陶山課長から説明をお願いします。

(陶山課長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) このことについては何かご質問はございますか。奥委員。

(奥委員) 今年度の訪問スケジュールということですが、9月24日というのは次回の定例会の日ではなかったですか。

(杉谷教育長) 陶山課長。

(陶山課長) そのとおりです。学校やゲストティーチャーとの調整の関係で日程が重なっております。大変申し訳ありません。

(奥委員) はい、承知いたしました。私もこれまで何回か参加をさせていただいておりますが、まず、今回時間帯を調整されて、1コマではなくてこの時間を設定をされたということは期待をしております。それから、前に市長と話をしたことがあったのですが、この講演が子どもたちのターニングポイントになりうる可能性があるのではないかとということをおっしゃっておりました。学校との調整もありますし、開催時期によっては暖房が必要なことなどいろいろとありますが、子どもたちが70分間我慢することではなくて、参加しやすいような設えをしていただければ、もっと良くなるのではないかと考えております。ぜひご検討いただきたいと思います。私は今のところ、すべて参加する予定にしております。期待をしております。

(杉谷教育長) 陶山課長。

(陶山課長) 今回は、指導主事が間に入り、場をうまく回すようにして、生徒に興味を持ってもらえる形としたいと思っています。また、市長の講話も少しやわらかい形にしたいと思っておりますが、そのあたりは今後打ち合わせをして参ります。

(杉谷教育長) そのあたりについてはご期待くださいということでございます。また、ご都合の良い日にご出席をよろしくお願いいたします。では最後に、報告(4)教育委員会の後援についてでございます。教育政策課 山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長) 先ほどの報告につきまして、委員の皆様から質問がありますでしょうか。

(各委員) なし。

(杉谷教育長) ないようでございますので、報告事項は以上といたします。

5 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長) では、次回の会議についてですが、9月24日木曜日、午後2時から、3階の庁議室で行いますのでよろしくお願いいたします。

閉会

(杉谷教育長)以上をもちまして、令和８年８月出雲市教育委員会定例会を閉会といたします。

(山根教育部次長)皆さま、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】（午後２時５６分）